

# サポクラ 通信

令和5年(2023年)3月号

今月の内容は...

- ・もっと知りたい！スローロリス .....1
- ・出産に向けて .....5
- ・フリーフライト再開に向けて .....9
- ・動物たちの春 .....11

もっと知りたい!

# スローロリス

サポートクラブのみなさん、こんにちは。  
いつもご支援いただきありがとうございます。  
スンダスローロリス、エゾユキウサギ担当の飯島です。  
今回のサポートクラブ通信では、「スローロリス」と  
今年の干支の「エゾユキウサギ」についてお伝えします!



## ?分類って?

自然界を階層構造によってグループ分けしたものです。分類の基礎は、カール・フォン・リンネ(1707-1778)によって編み出されました。

### スローロリスを説明すると...

霊長目というグループ(オランウータンなど)の中の、曲鼻亜目(キツネザルなど)の中のロリス下目(ロリスとガラゴ)の中のロリス科というグループです。分類が分かると、新しい発見がありますよ!

## スローロリスってこんな動物

### <分類>

霊長目曲鼻亜目

ロリス下目ロリス科

→最も近縁な種類は「ショウガラゴ」

などの「ガラゴ科」

ロリス下目のなかまはすべて夜行性です!

### <生息地>

ミャンマーからスマトラ島まで幅広く生息

★地域によって生息している種が異なる



←スローロリスと近縁なショウガラゴはこんな動物です

(引用:公益財団法人日本モンキーセンター編 霊長類図鑑)



赤い丸で囲った地域がスローロリスのなかまが生息している地域です。

地図の中央の赤い線は赤道で、スローロリスは暖かい地域に生息していることが分かります。円山動物園で飼育しているのは、マレーシア、シンガポール、タイ南部、スマトラ島に生息している**スンダスローロリス**です。

## 何を食べているの？



スロースローロリスの食べ物は、果実や昆虫だといわれていましたが、長期にわたる現地調査によって、果実や昆虫よりも**樹液**や**樹脂**を食べていることが分かりました。樹液や樹脂を食べる哺乳類は非常に珍しく、サルの仲間だと、ロリスのなかまと、ガラゴのなかまだけです。

円山動物園では、アラビアゴム（ゴムノキの樹液）と、小松菜、ピーマン、キュウリ、サツマイモ、リンゴなどの野菜や果実類と、サル用のペレット、ミルワームとコオロギなどの昆虫類を与えています。個体によって好き嫌いがあり、アラビアゴムから食べる個体もいれば、一目散にコオロギに向かっていく個体など、ヒトと同じで食の好みも様々なようです。

## 名前の由来は？

名前に「リス」と入っているので、よくリスの仲間間違えられます。一番最初にお伝えした通り、スローロリスは**サルの仲間**です。

スローは言わずもがな、ゆっくり動くさまを表しています。では、「ロリス」はどのような意味なのでしょう。

実は、この「ロリス」という言葉はオランダ語で「**道化師**」という意味があるそうです。顔の模様がまるでピエロのようなのでこの名前がついたといわれています。日本語にすると、「**ゆっくりな道化師**」といったところでしょうか...

リスの仲間ではないこと、覚えておいてくださいね。



## 毒があるってホント！？

**実**は、スローロリスのなかまはサルのなかで唯一**毒**を持っています。スローロリスに噛まれた経験のある人に話を聞いてみると、噛まれた痛みはもちろん、1か月ほどジンジンとするような痛みが続くそうです。実はこの毒、どんな毒なのかまだ**ハッキリとわかっていない**のです。最近の研究では、スズメバチの毒によく似た毒なのではないかと考えられています。

スローロリスの毒はヘビの仲間のように歯から直接毒が出るわけではなく、わきの下にある腺から分泌される液体を唾液と混ぜ合わせて毒になるといわれています。野生のスローロリスは、噛みつくだけでなく、この毒を体全身に塗り広げて身を守っているともいわれています。

飼育員が捕獲を試みようとするすると全力で脇を舐めて毒の準備をしているので、捕獲時には**必ず**「革手袋」を使っています。

# スローロリスの危機と

## スローロリスを守るために

### わたしたちにできること



**残**念なことに、野生のスローロリスは年々減少しています。原因は

- ①密輸を目的とした密猟
  - ②プランテーションや都市開発による生息地の減少
- 以上の2つが主な原因といわれています。

実は、原因の1つである「密猟」は、生息地から遠く離れた日本に住む私たちにも関係のある話なのです。密猟の目的は、ペットとして人気があるスローロリスを高い値段で売ることです。その後、違法な手段で様々な国に「密輸」されます。**日本はその密輸先の1つなのです。**

私たちが、「ペットとして飼いたい」と思えば思うほど、スローロリスの需要が高まり、高い値段で売られます。高い値段で売られると、お金儲けのためにたくさんの方がスローロリスを捕まえようとしています。SNSやテレビ番組で野生動物をペットとして飼育することが当たり前のようになっていますが、背景には野生動物にとっての脅威が隠れているのです。



**私**たちには何ができるのでしょうか。

一番大切なのは、スローロリスについて知ることです。可愛い見た目をしていてもペットとして飼育することは難しいということを知っていれば飼うことはないでしょう。また、生息地が減少している、と知っていたら生息地保護の募金なども進んで参加できるかもしれません。

動物園がスローロリスの情報発信を行うことで、多くの人に現状を知ってもらえると思っています。今後もガイドや掲示物を通して皆さんにスローロリスの魅力を伝えていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひします。



# 2023



# 卯

時期が遅くなってしまいましたが、今年の干支は**卯**です！（年賀状風にしてみました）

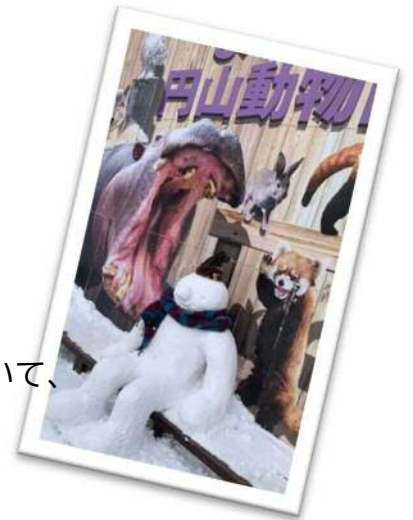
12年に1度、なかなかやってこないウサギが主役の年。担当者は必至になってエゾユキウサギの魅力をアピールしました。12月の干支展から始まり、31日の年越しコラボInstagram配信や三が日の特別ガイド・特別イベントなどなど、ここぞとばかりにエゾユキウサギをアピールしましたが、届いておりますでしょうか。

担当者の知らぬところ（円山動物園公式Twitter@marudou\_fan）で足の長い画像がバズったようですが、これがエゾユキウサギの通常の姿ですので、皆様いつでも観察しに来てください。

ちなみに、3月末ごろから換毛が始まりますので、まだら模様のエゾユキウサギをご覧ください。4月中がおすすめです。

## 🐘 出産に向けて 🐘

みなさまこんにちは！  
いつもたくさんのご支援をありがとうございます。  
私はアジアゾウを担当している沖野と申します。  
例年よりも早く春の気配が感じられる今日この頃ですが、  
つい先日までは雪ボーイがよく映える季節でしたね。  
皆様お元気でお過ごしでしょうか？  
今回は、前回のサポクラ通信でもお伝えしていたパール妊娠について、  
急ピッチで進められている改修工事をご紹介します。



### まずはじめに

パールが安心して出産に臨み、仔ゾウの安全を確保するために、獣舎の問題点について  
全員で念入りにチェックし、アラン氏から助言をいただきながら対策を考えました。



専門家のアラン氏に助言をいただきながら対策を考えます

### 危険箇所その1 仔ゾウが通り抜けられそうな場所・挟まりそうな場所…

まずは、仔ゾウが通り抜けることができそうな場所や挟まってしまいそうな危険箇所の対策です。通り抜けることができそうな場所の対策を行わないと、仔ゾウの逸走や他のゾウと予期せぬ同居をしてしまう可能性があります。

このような危険箇所はチェーンや鉄板で物理的に隙間を塞ぐことになりました。







ゾウに壊されないように頑丈な金具を溶接



30 cm間隔で溶接したフックにチェーンを取り付け

## 危険箇所その2 プールはどうする？（屋外）

出産後、仔ゾウとパールが生活する予定の場所は、オス側放飼場。屋外放飼場にはプールがあり、仔ゾウがプールに転落しないような対策が必要です。成獣のゾウは跨いでプールに入ることができ、仔ゾウは登ることができない高さで、さらに破壊されにくいような工夫が必要…。うーん…難しい…。施工業者も頭を抱えて悩んでいました。

最終的に金具を使用せず、伐採したアカマツを組んで木柵を製作することに。



## 仔ゾウの健康管理

産まれた仔ゾウにもトレーニングを行い、検温や採血、口腔内チェックを含め、全身の状態を日々確認して健康管理をしなければなりません。現在、成獣の4頭が使用しているトレーニングエリアでは仔ゾウには大きすぎるため、新たに体重計を備えた仔ゾウ用のトレーニングエリアを新設する必要があります。

こちらもアラン氏に設計していただき、ダブリン動物園やチェスター動物園の仔ゾウ用トレーニングエリアも参考にしました。



体重計を備えたトレーニングエリア



トレーニングエリア(製作途中)



体重計



チェーンにはカバーを取り付けています



## 体の変化

出産が近づくにつれ、パールの体にも少しずつ変化が起きているようです。

お腹は少しでてきたかな？ 乳房は大きくなってきたかな？

体重は着々と増えており、やや肥満傾向気味なので給餌量を抑える日もあります。

円山動物園に遊びに来た際は、ぜひパールのお腹と乳房に注目してみてください。

(※日によってはパールを観覧できない場合もございます、予めご了承ください)

《2022年12月》



《2023年3月》



あれ？  
あまり変わらないような...

## さいごに

日本全国の動物園の中でも、準間接飼育においての出産は初めての試みとなります。

ゾウの妊娠期間は哺乳類最長で、子育てを含めると

ゾウは一生の間に5~6回しか出産することができません。

野生で暮らすアジアゾウが絶滅の危機に瀕している現状を、

後世に渡り多くの来園者に伝えていくためにも、

新たな命を繋いでいくことは、動物園の使命です。

パールが無事に出産を終え、

安心して子育てができる環境を整えるため

これからも最大限の努力を続けていきますので、

今後とも応援よろしくお願いいたします！



## ～フリーフライト再開に向けて～

サポートクラブの皆さんこんにちは。いつもご支援ありがとうございます。爬虫・両生類、ニホンザリガニ担当の片岡と申します。今回は私の担当している猛禽類のフリーフライトについてお話をさせていただけたらと思います。

### ～円山動物園のフリーフライト～

円山動物園では2004年から猛禽類の魅力や性質、鷹匠の技術を応用した猛禽類の野生復帰の取り組みなどの普及啓発を目的として、猛禽類のフリーフライトを開始しました。来園者の間近を猛禽類が飛ぶ迫力や鷹匠体験が非常に好評で、円山動物園を代表するガイドのひとつでした。しかし、訓練中のトビがサル山に飛んで行ってしまい死亡した事故を受け、しばらくの間中止とさせていただいておりました。フリーフライトを楽しみにしていただいていた皆様には、大変申し訳ありませんでした。動物園内で今後フリーフライトをより安全に行っていくための話し合いを行い、最大限安全に配慮したうえで、まずはユーラシアワシミミズクの「フクちゃん」からフリーフライトを再開することとなりました。

実は昨年9月中旬頃からフリーフライトの再開を目指し、ユーラシアワシミミズクのフクちゃんのトレーニングを開始していました。私もフクちゃんも2年ぶりのフリーフライトということで、トレーニングを行う際は安全のため経験が豊富な先輩方に指導してもらいます。9月下旬からグローブを付けた拳にフクちゃんを乗せ、園内を歩く「据えまわし」を行っていました。据えまわしをすることで拳の上で安心できる場所であることを認識してもらうと同時に、園内を歩くことで様々な状況に慣れてもらうためのトレーニングです。といってもフクちゃんはベテランですので、私がフクちゃんに心構え、据えた状態での動き方などを再度トレーニングしてもらっていた状態です。



フクちゃんとは？

ユーラシアワシミミズクという種類のフクロウ。体重約2kg、翼開長は180cmほど。旭山動物園生まれの13歳のオス。円山動物園では2011年から猛禽類のフリーフライトで活躍してくれている。フリーフライトを通じて飼育員に大切なことを教えてくれる先生でもあります。



据えまわしの際、総合学習で来た小学生や幼稚園の子供たちに囲まれても終始落ち着いた様子でした。



10月中旬に入ってから止まり木から止まり木へ飛ぶ「渡り」の練習を開始しました。最初はどこかに飛んで行ってしまう可能性があるため、足に紐をつけた状態で短い距離（50cm程度）で渡りを行うのですが、初回から2年ぶりとは思えないほどの良い反応で飛んでくれました。その後反応を見ながら1日ごとに徐々に距離を伸ばし最終的には紐をつけた状態で20m位の距離を飛べるようになりました。この調子であれば1週間後にはフリーフライトを来園者の方の前で披露できる！と話をしていたところ、例年よりも3か月ほど早く札幌市内で鳥インフルエンザの発生。10月だけでもフリーフライトを行う事ができないかと考えたのですが、園内の鳥インフルエンザ対策ということで中止とさせていただきます。トレーニングを見学に来ていただいていた皆様にも、10月中にはフリーフライトを再開できるとお伝えしていたのですが、本当に申し訳ありませんでした。



紐のついた状態で渡りの練習をしている様子



### ～鳥インフルエンザとは？～

鳥インフルエンザとは鳥に対して感染性を示すインフルエンザウイルスで、感染した鳥の排泄物、死体、臓器など、また感染した鳥と接触のあった小動物（ネズミなど）を介して感染します。日本では主に秋から冬にかけてやってくる渡り鳥がウイルスを運んできます。鶏が感染した場合に、高率に死亡させてしまうようなものを高病原性鳥インフルエンザと言い、全国で家禽（鶏など）が感染し防疫措置のため殺処分されたり、日本の動物園でも飼育している鳥類（フラミンゴなど）で感染が確認されています。高病原性のインフルエンザに感染すると重篤な症状がみられる事が多いため、秋から春にかけて渡り鳥がやってくる時期はウイルスを動物園・獣舎へ持ち込まないよう十分に気を付けなくてはならないのです・・・。

今年のフリーフライトについては鳥インフルエンザとの兼ね合いもありますが、ゴールデンウィーク以降にユーラシアワシミズクの子ちゃんが飛ぶ姿を皆様に披露できるように準備を進めています。また、以前フリーフライトで活躍してくれていたトビのクラッチに関しても、フリーフライトでまた見ていただけるようしっかりと準備を進めていきますので、進展があり次第お伝えさせていただきます。今後より良いフリーフライトを皆様に見ていただけるよう頑張っていきますので厳しくも暖かく見守っていただけたらと思います。



4班 サポートクラブ通信 3月号

動物たちの春

サポートクラブのみなさんこんにちは、チンパンジー・ヒグマ・モンキーハウス・オオカミを担当している祐川です。

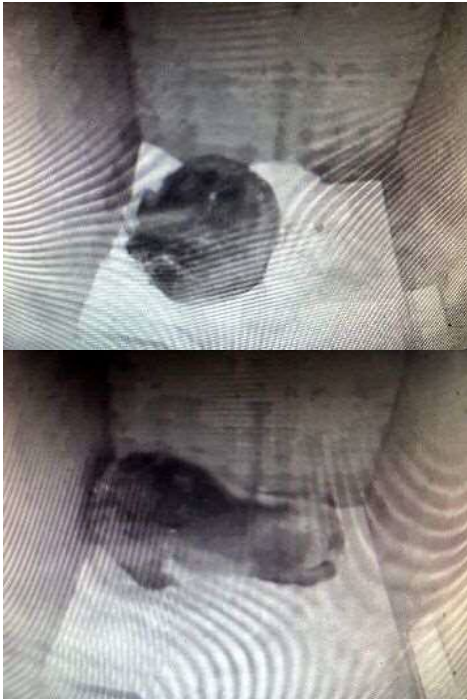
今年は雪解けが早く、動物たちもいつもより早くそわそわし始めました。



エゾヒグマ館でも、ちょっと早いような気もしますが、円山動物園のエゾヒグマのオスの「大」の背こすりや爪とぎが多くみられるようになりました。

北海道に生息しているエゾヒグマは、5月～7月の恋の季節になると背中を木などにこすりつける行動が多くみられるようになります。

右の写真は屋外展示場に出てすぐのところ、お客様から見づらい場所にある爪とぎ用の木です。いつも同じような場所で爪とぎや背こすりをするのでその場所は汚れていたり逆にピカピカだったり、ギザギザに傷ついていたります。



メスの「とわ」は今年も室内にある産室で冬眠していましたが、どうやらここ数日の暖かさで目が覚めてきたようです。

チンパンジーたちは冬の間、新雪をおいしそうに食べていましたが、今は解け始めて汚れた雪を掘り、下の汚れていない雪を少し食べているようです。

まだ地面はぬかるむので移動は楽なロープづたいで室内に入ってきます。

寝起きのヒグマや、そわそわしているチンパンジーたちを、

これからもよろしくお願ひいたします。

